



Red Hat で将来の可能性を切り拓く

組織のイノベーションと成長を促進する



目次

はじめに	3
強固な基盤を築く	3
クラウドのメリットを活用する	5
より価値の高い業務に注力できるよう IT 部門を解放する	6
アプリケーションをモダナイズする	7
大量のデータ処理を軽量化する	8
ビジネスと IT 環境を保護する	9
オープンソースでより良いテクノロジーを作る	11
Red Hat でより多くのことを実現	13

Red Hat ソリューションは、お客様の状況に合わせたニーズにお応えします。また、お客様が望むタイミングと方法で、お客様にあわせて拡張していくことができます。

はじめに

従来型のワークロードおよびアプリケーションから新しいテクノロジーの統合やデプロイまで、ビジネス価値を創出する機会は今も IT 部門全体に存在しています。

そう遠くない未来の姿として、以下を想像してみてください。

会社の成長に最も大きく貢献しているのは、IT 部門です。すべての業務部門が、ビジネス全体のイノベーション、効率性、生産性の向上に取り組んでいます。会社が競争上の優位性を得る上で IT 部門が果たしている役割に疑問の余地はありません。

もしこれが理想とする姿に近いのであれば、もう一歩踏み込んで考えてみてください。

- ▶ 理想の状態をどのように実現しますか？
- ▶ どこから開始しますか？
- ▶ 成功までの道筋が見えますか？

この e ブックは、理想とする IT 部門の構築に取り組むお客様に対して、これらの質問の答えを今すぐに提供します。

Red Hat の目標は、お客様がビジネスの課題を解決し、情報に基づいた意思決定を行う支援をすることです。Red Hat を使用すると、以下が可能になります。

- ▶ 統合的な標準化されたインフラストラクチャを構築する
- ▶ クラウドを最大限に活用する
- ▶ 自動化によってチームを日常的なタスクから解放する
- ▶ アプリケーションをモダナイズしてアジリティとスピードを高める
- ▶ 大量のデータを管理する
- ▶ セキュリティを再考し、クラウド環境への対応を強化する

強固な基盤を築く

すべてのシステムが共通の基盤を共有していれば、システムは機能単位で個々に独立することなく、必要に応じて各種サービスを提供できます。また、IT リソースをインテリジェントに共有できるため、より少ないサーバーでより多くの作業を行えるようになります。

IT 環境の設計、管理、運用に対する時代遅れのアプローチがビジネスの妨げになるケースは少なくありません。インフラストラクチャが手に負えないほど複雑になっているという状況が見られますか？

そうだととしても、そのような状況にあるのはお客様だけではありません。ほとんどの企業はオペレーティングシステムとそのバージョン、サーバーのハードウェア構成や、管理ツールなどを複雑な迷路のように組み合わせながら成長してきました。そのため多くの場合、相互運用性の問題、複雑な管理や手間のかかるプロセスを処理するために熟練した大きな IT チームが必要となっています。そして、そのような状況から生じるのが、時間のかかるプロビジョニング、ダウンタイムの増加、セキュリティとコンプライアンスのギャップの拡大です。そうした環境では、ビジネスに必要なサービスを、求められる効率とスピードで提供できないこともあり得ます。

Red Hat Enterprise Linux は
世界をリードする
エンタープライズ Linux
プラットフォームであり、
フォーチュン 500 企業の
90% 以上から信頼を得ています。¹

今すぐイノベーションの体制を整え、将来に備える

IT やビジネス運用部門のデジタル・トランスフォーメーションに対するアプローチは変わりつつあり、イノベーションだけでなくレジリエンス (回復力) や変化し続ける状況への順応力にも焦点が置かれるようになっていきます。変化に対応できる設計が求められるため、適切に構築されたアーキテクチャはきわめて重要になります。レジリエンスを確保するには、次の条件を満たしている必要があります。

- ▶ 継続的インテグレーションおよび継続的デリバリー (CI/CD) の実装によるサポート、またはアプリケーションの複数バージョンへのサポートがある
- ▶ 従来のデータセンターとクラウド環境を横断できる
- ▶ データセキュリティ、ユーザーおよびサービスのアクセス、およびリスク管理を両立できる

レジリエンスがあり、適応性の高い環境は、自動化、セキュリティ、一貫性という 3 つの原則に基づいて構築されます。

Red Hat でできること

Red Hat で IT 環境に秩序をもたらす

Red Hat® のポートフォリオは、相互に連携して動作し、お客様の既存のシステムやプロセスとも連携するオープンソース・テクノロジーを統合します。

Red Hat は最初に、世界最大級の商用 Linux プラットフォームであり、あらゆる規模の企業や業界で実績のある Red Hat Enterprise Linux® の提供を開始しました。² 次に、コンテナやマイクロサービスといった、IT 運用をクラウドコンピューティングへと拡張し、先進的なソフトウェア戦略を追求するのに役立つ幅広い製品のポートフォリオを、強化されたセキュリティ機能および自動化機能とともに開発しました。

支出の削減、時間の節約、より効率的な運用

Red Hat Enterprise Linux を活用する組織では、そうでない組織と比べてサーバーの購入、そのサーバー用のソフトウェア、サーバーの保守、データセンターの電力、冷却、フロアスペースに費す費用が少なくなっています。³ また、日常的な IT タスクの実行、サポートコールの解決、計画外のダウンタイムからの回復、ビジネスアプリケーションのデプロイやアップグレードにかかる時間も短縮できます。³ さらに、新サービスをより迅速に提供できるようになるため、ビジネス上のメリットも得られます。³

将来の成功に備える

Red Hat Enterprise Linux を基盤にすれば、サーバー (ベアメタル)、仮想マシン (VM)、およびクラウド環境で既存のアプリケーションを簡単にスケーリングし、新しいテクノロジーをロールアウトできます。コンテナから自動化、さらには人工知能 (AI) に至るまで幅広いソリューションの基盤となる Red Hat Enterprise Linux は、さまざまなイノベーターのために創られたオペレーションシステムです。また、開発者向けにデザインされ、運用向けにも大変使いやすく工夫されています。Red Hat Enterprise Linux で、将来の活躍を可能とするためのステージを、今日から整えていきましょう。

¹ Red Hat の顧客データとフォーチュン 500 リスト、2020 年 6 月。

² IDC、「Worldwide Server Operating Environments Market Shares, 2019: Overall Server Operating Environment Market Grows During the Year, Led by Linux-Based Shipments and Deployments」、Doc #US46684720、2020 年 7 月。

³ IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援)「無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値」、Doc #US47607721、2021 年 4 月。

「Red Hat Enterprise Linux という堅牢な基盤を利用することで、クラウド、仮想化、ベアメタル、パブリッククラウドのいずれにおいても、お客様はあらゆる場所で、すべてのクラウドおよびアプリケーションを利用できるようになります」⁴


Red Hat
製品戦略担当ディレクター
Brian Gracely
(ブライアン・グレースリー)

クラウドのメリットを活用する

クラウド・テクノロジーを活用すると、ビジネスのニーズに沿って IT インフラストラクチャを拡張したり、縮小したりすることができます。

クラウド・コンピューティングは、ネットワーク全体でリソースをプールおよび共有して、分散した IT 環境でワークロードを実行するのに役立ちます。クラウドの種類には次のようなものがあります。

- ▶ 組織内にあり、その組織だけにサービスを提供するもの (プライベートクラウド)
- ▶ 組織外にあり、他のテナントにもサービスを提供するもの (パブリッククラウド)
- ▶ パブリックまたはプライベートプラットフォームを含む複数のクラウドで構成され、相互にある程度接続しているもの (ハイブリッドクラウド)
- ▶ パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせたもの (マルチクラウド)。ちなみに、クラウド同士はネットワークで接続されているケースと、接続されていないケースがある

たとえば、オンラインショップの場合、普段は、日常業務に対応できる程度の、オンプレミスの IT インフラストラクチャを保有しておきます。そして、休日やセールなどのピーク時には、必要な分だけ、一時的にパブリッククラウドを利用するといった運用方法 (クラウドバースティング) も可能です。こうすることで、自社のデータセンターに余分なリソースを抱え込むことなく、より大きな要求に対応することができます。

クラウド・コンピューティングは急速に IT 運用に欠かせないものとなりつつありますが、プロプライエタリー・テクノロジーに基づくスタンドアローンのクラウドは理想的なソリューションとは言えません。ハイブリッドクラウド環境は、複数のクラウド同士を接続し、ワークロードをクラウド間で移動できるようにし、統一されたエクスペリエンスを作り上げるので、将来に向けて備えるのに役立ちます。

共通の基盤を構築して使用すると、クラウドのデプロイが迅速化し、より信頼性が高く、より効率的になります。

Red Hat でできること

強固な基盤を築く

Red Hat のオープンソース・テクノロジーは、あらゆる形態のクラウド環境に対して、一貫した基盤を提供します。Red Hat の標準オペレーティングシステムは、どの環境でも同じように機能します。Red Hat のコンテナプラットフォームはアプリケーションをパッケージングしてクラウド間で移動できるようにします。また、Red Hat のツールを使用すると、プライベートクラウド内、またはマルチクラウド環境間でアプリケーションをすべて管理し、自動化することもできるようになります。

Red Hat Enterprise Linux は数百のパブリッククラウドプロバイダーおよびサービスプロバイダーによる認定を受けており、安心感のあるクラウド移行をサポートします。

総合的なクラウドアプローチをサポートする

Red Hat のポートフォリオには Red Hat Ansible® Automation Platform と Red Hat OpenShift® が含まれており、これらがインフラストラクチャ管理からモニタリング、データおよびアプリケーションサービスに至るクラウド・コンピューティングをサポートします。既存の投資や新たなアプリケーションをどこにでも実行できることを前提にクラウド機能を最大化できます。

Red Hat 認定の数百ものソフトウェアパートナー、ハードウェアパートナー、サービスパートナーのオファリングを統合できるので、クラウド導入の可能性が広がります。クラウドアプローチの進め方についての支援をお求めのお客様には、当社の経験豊富なチームがプラン策定をお手伝いします。お客様の現状や、目指す姿に応じて、お客様のロードマップの設計を支援いたします。

⁴ Red Hat のハイブリッド・クラウドインフラストラクチャのページ、2021年7月21日にアクセス

より価値の高い業務に注力できるよう IT 部門を解放する

IT コンポーネントとタスクは人間の処理能力を超える速度で増殖する

自動化はあらゆる場面において、コスト削減のための手段から戦略的な役員会議の必須事項へと進化しています。自動化ファーストの方針を採ることで、動的に変化する現在のビジネス環境に対応するために必要なアジリティと効率性を得ることができます。エッジコンピューティングを導入している会社であれば、自動化は IT による運用テクノロジーのサポートをさらに強化します。また、IoT (モノのインターネット) で生成される大量のデータの管理にも自動化は不可欠です。

IT 運用チームは、複数のプラットフォームや複雑なテクノロジーレイヤーを使用して構築された、複雑な IT アーキテクチャを管理しています。また、レガシーな管理ツールには限界があります。そうした環境では個々のシステムを個別にコントロールする必要があり、プロプライエタリーな言語を使わなくてはならず、既存のユースケースを拡張することもできません。その結果、チームの時間とエネルギーの大半が手作業に費やされ、イノベーションや成長が妨げられてしまいます。

冗長で日常的なタスクは自動化しましょう。自動化により、新しいアプリケーションとサービスの迅速で信頼できるロールアウト、セキュリティとコンプライアンスのリスクの軽減、運用コストの削減を実現できます。さらに、IT スタッフと予算を、よりビジネス価値の高い業務に充てるできるようになります。IT 環境の運用が望ましい状態にあることを確認できたら、戦略的な優先事項により多くの時間とリソースを投資することができます。

Red Hat でできること

複数チーム全体での自動化により、イノベーションを促進し、加速する

既存の IT 環境がどの程度複雑であるかや、モダナイゼーションのどの段階にあるかにかかわらず、Red Hat の自動化および運用管理製品のポートフォリオは、時間を奪われがちな日常タスクを、チームに代わって処理します。必要なコンポーネントを選択し、次のようなメリットを実現してください。

- ▶ お客様に適したペースで自動化を進められる
- ▶ 先のことを考える余力が生まれる
- ▶ 人的ミスリスクを軽減できる
- ▶ 一貫性のメリットを活用できる

自動化は、小さな 1 つのタスク、あるいはサービスからでも開始できます。それを他部門と共有したり、またそれをベースに、新たな自動化を追加していくことも可能です。一気に大きな変更を加えるのではなく、じっくりと自分のペースで、目標とするレベルの自動化を進めていくことが可能です。

Red Hat の自動化ツールがリソース最適化を支援

時間、資金、リソースを解放しましょう。Red Hat が提供するオープンソースの自動化テクノロジーは、時間、チーム、投資をより有効に活用するのに役立ちます。

Red Hat Ansible Automation Platform：構成、プロビジョニング、ワークフローのオーケストレーション、アプリケーションのデプロイ、およびライフサイクル管理を自動化します。Ansible Automation Platform はエージェントレスなテクノロジーを使用しているため、自動化の導入を容易にします。さらに、管理対象のマシンのバックグラウンドでソフトウェアを実行する必要がありません。

5 Forrester Research, 「The Forrester Wave™: Infrastructure Automation Platforms, Q3 2020」、2020 年 8 月。

IT 環境がさらに正確かつ自動的に動作してくれるため、安心して、より多くの時間とリソースを戦略的な優先事項に費やすことができるようになります。

Red Hat Ansible Automation Platform は 2020 年第 3 四半期の Forrester Wave™: Infrastructure Automation Platforms でインフラストラクチャ自動化プラットフォームのリーダーに選出されています。⁵

Red Hat Smart Management: 継続的で詳細な分析を実行して、Red Hat Enterprise Linux のペアメタル、仮想、およびクラウド・デプロイメントについてのセキュリティ、コンプライアンス、および構成の問題を特定し、解決します。物理環境、仮想環境、クラウド環境で Red Hat インフラストラクチャをきわめて容易に管理できます。Red Hat Smart Management を使用すれば、適切なセキュリティを備え、標準に準拠して、システムの効率的な実行を保持できます。

アプリケーションをモダナイズする

競争力を迅速に獲得する

他社と競い、勝ち抜いていくために、ビジネスでは次のようなデジタルアプリケーションが利用されています。

- ▶ **運用ソフトウェア**: 調達、人事、カスタマーエクスペリエンス、その他のビジネス機能を管理する
- ▶ **顧客向けソフトウェア**: 顧客にセルフサービスの機能を提供し、直接的なデジタルエクスペリエンスを提供する
- ▶ **ビジネスインテリジェンス**: 大量のデータを知見に変換して健全なビジネス上の意思決定を行う
- ▶ **予測分析**: 過去のデータを使用して意思決定を導き出す
- ▶ **インテリジェント・データサービス**: エンタープライズデータの移動、格納、および変換、およびそうしたデータに基づく対応および学習を行う
- ▶ **機械学習**: アプリケーションがデータから学習し、新しい情報を導き出す

アプリケーションやサービスを、必要なときにすばやくデプロイし、実行し、更新できるようにするには、速度の向上が不可欠です。

クラウドで実行する必要がある

複数の異なるクラウドでアプリケーションを実行し、サポートする方法がよく分からないという組織は少なくありません。クラウドのメリットをフルに活用しつつ、ビジネスが求めるスピードを確保することが、多くの組織の課題になっています。

コンテナ化は、標準化された運用環境とともにアプリケーション開発の未来を担います。コンテナはアプリケーションをモジュールにパッケージ化し、モジュールには、ランタイム環境全体 (実行に必要なすべてのファイル) が組み込まれます。コンテナを活用することで、複雑なアプリケーション全体を 1 台のマシンだけで一元的に実行する必要がなくなります。個々のアプリケーションは、それぞれが独立して進化および拡張できるモジュールとして、取り扱えるようになります。

Red Hat が主催した調査では、コンテナ化に関する注目すべき指標が報告されています。⁶

- ▶ DevOps および開発チームの生産性が 20% 向上
- ▶ IT インフラストラクチャチームの効率が 21% 向上
- ▶ 5 年間の投資対効果 (ROI) は 636%

テスト済み、実行中、利用可能な状態のテクノロジーを適切に組み合わせることにより、アプリケーション開発を単純化し、他の優先事項に注力できます。

コンテナ化の効果:
DevOps および開発チームの
生産性が 20% 向上

IT インフラストラクチャ・チーム
の効率が 21% 向上⁶

⁶ IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「Red Hat OpenShift のビジネス価値」、Doc #US47539121、2021 年 3 月。

Red Hat でできること

お客様のアプリケーションの開発プロセスやプラットフォームの状況、またどのようなコンテナ戦略を取っているかを問わず、Red Hat は状況や目的に応じた支援を提供いたします。

コンテナアプリケーションを使用したモダナイゼーション

Red Hat OpenShift は、深い専門知識に基づいてサポートされた、安全性の高い Kubernetes プラットフォームを必要とするお客様には一番の選択肢です。Red Hat OpenShift はコンテナのライフサイクルを自動化し、コンテナパイプラインにセキュリティを組み込み、DevOps チームをサポートします。Red Hat OpenShift は、ハイブリッド クラウド、マルチクラウド、およびエッジのデプロイメントを管理するフルスタックの自動運用機能を備えたエンタープライズ Kubernetes コンテナ・プラットフォームであり、開発者の生産性を高め、イノベーションを促進するために最適化されています。複数の **Red Hat OpenShift マネージドサービス** が提供されているので、組織のニーズに合わせて適切なものを選ぶことができます。

Red Hat のマネージドサービスを利用する

多くの組織がマネージド・クラウドサービスへの移行を進めているか、または移行を検討しています。Red Hat はハイブリッドクラウド・エクスペリエンスの提供に取り組んでいます。そのため、Red Hat OpenShift ではセルフマネージド型の製品に加えてマネージド型サービスも提供しており、アプリケーション、データ、プラットフォームのマネージド型のクラウドサービスを、フルスタックの管理およびオープン・ハイブリッドクラウド環境全体で最適化されたユーザーエクスペリエンスとともに提供しています。

クラウドの運用はすぐに開始でき、インフラストラクチャは継続的に更新されるので、市場投入時間の短縮をはじめとしてさまざまなメリットが得られます。さらに、料金は実際に使用した分に対してのみ発生するので全体的なコストを削減できるほか、ビジネス目標を達成するために貴重なリソースを再配置することに焦点を当てることができます。

開発およびトレーニングリソースへのアクセス

Red Hat はコンテナ・ソリューションをクラウドまたはオンプレミスでホストし、管理します。これらのソリューションはすべての主要クラウドでネイティブに動作します。Red Hat Ecosystem Catalog を利用すると、数百もの認定済みコンテナイメージ、言語ランタイム、データベースにアクセスできるほか、Red Hat Enterprise Linux を実行していればどこからでも実行できるミドルウェアに接続できます。**オンライントレーニング・クラス**ではコンテナの概念とコンテナ・オーケストレーション・テクノロジーに関する技術スキルを身に付けることができます。

大量のデータ処理を軽量化する

データの力を解放し、そのアクセス性、回復力、有用性を高める

成功している企業のほとんどは、データを収益化して効率性と収益性を向上させ、競争上の優位性を確保する方法を知っています。しかし、大量のデータをどのように処理するかは課題となり、場合によってはデータから得られるはずの最大限のメリットが得られなくなる可能性があります。多くの組織では、データはさまざまなシステムに存在し、特定の開発言語、オペレーティングシステム、またはデプロイメントモデル (クラウド、仮想、またはオンプレミス) に縛りつけられていることがよくあります。

そのため、ビジネスリーダーも IT リーダーも、データプロセスを効率化し、データ環境の標準化、一貫したプラットフォームへのデータベースサーバーの集約、およびライセンスコストの削減を実現したいと考えています。

必要ときに必要な場所で使えるデータを手に入れるかどうかは、市場のリーダーになれるかどうかの分かれ目となります。

安心してアプリケーションの構築とスケーリングを行うことができます。その他の管理は Red Hat が対応します。

「データを取得し、
変換して、それに応答し、
学習するプロセスこそ、
データそのものを
はるかにしのぐ価値を
もたらします」⁷

Red Hat Data Services
Irshad Raihan (イルシャド・ライハン)

Red Hat でできること

Red Hat Data Services は、保管されているデータ、移動中のデータ、および処理中のデータをより効率的に管理して、よりビジネスに有益な分析情報を取得するのに役立ちます。Red Hat のオープンで安定したデータベース・ソリューションは、データを安定的に保存してセキュリティで保護し、いつでも利用できるようにして、ビジネスの効率化と成長の加速を支援します。この分野の製品は次のとおりです。

Red Hat OpenShift Data Foundation: ストレージ・インフラストラクチャを抽象化してデータをさまざまな場所に保存できるようにしますが、単一の永続リポジトリとして機能します。このデータサービスにより開発者のデータへのアクセスが単純化され、Kubernetes 管理者の動的なスケーリングが可能になり、クラウド、オンプレミスおよび仮想環境のすべてのデプロイメントで一貫したユーザーエクスペリエンスが提供されます。

Red Hat Ceph® Storage: 高度な分析、メディアリポジトリ、AI などのモダンなデータパイプラインに適した、オープンでスケーラブルなストレージ・ソリューションです。効率化された運用、監視、容量管理で、構造化されていない大量のデータから重要な情報をすばやく取得し、オブジェクト数が 100 億を超えるスケーリングにも対応します。

オブジェクトストレージは REST (Representational State Transfer) アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) 経由で使用できる使いやすさと大規模なスケーラビリティにより、データレイク・プラットフォームとしての存在感を高めています。Red Hat OpenShift Data Foundation のデータプレーンである Red Hat Ceph Storage は各種の主要な要件に対応しています。

Red Hat OpenShift Data Science はサポート付きのセルフサービス・サンドボックス環境を提供するため、データサイエンティストと機械学習 (ML) エンジニアが協力してデータの準備や ML モデルのテストおよびトレーニングを実行するのに役立ちます。Red Hat パートナーや独立系ソフトウェアベンダーが提供する幅広い AI/ML テクノロジーにアクセスして、業界で最も優れた AI/ML 向けツールとデータサイエンス向けツールを使ってカスタム環境を構築できます。

ビジネスと IT 環境を保護する

クラウドのセキュリティのアプローチは、従来とは異なる場合がある。

クラウドの導入は開発者主導で行われ、オープンソース・テクノロジーの導入を伴うことがよくあります。これらのテクノロジーには、最新イノベーションへのアクセス、透明性、コラボレーション、コスト削減、さらに優れたものに成長する可能性のあるソフトウェアを使用できるなどのメリットがあります。クラウド・テクノロジーをデプロイすることは、多くの場合、開発者が開発ライフサイクル全体をさらに制御できるようになることを意味します。しかし、開発者はセキュリティの専門家ではないため、適切な緩和措置やセキュリティゲートを組み込んでおかないと、リスクが増える可能性があります。

セキュリティを初期段階で考慮に入れる

クラウドを評価する際には、プロセスの早い段階からセキュリティチームに参加してもらう必要があります。そうすることで、ハイブリッドクラウド環境のセキュリティを初期段階からプロアクティブかつコラボレーティブに計画できます。この初期段階からの計画により、より安全なアプリケーションを構築することができます。結果として、クラウドプロセスの最初から DevSecOps を組織に導入することが可能になります。導入の計画における推奨事項は次のとおりです。

- ▶ オープンソース・テクノロジー環境にセキュリティを組み込む。以下は、具体的なポイントになります。
- ▶ 組織内におけるオープンソースの使用範囲を把握する方法を確保する
- ▶ 使用しているすべてのオープンソース・テクノロジーの脆弱性を発見し、それぞれの脆弱性によるセキュリティ上の影響を迅速に評価できるようにする

⁷ Raihan, Irshad, 「データの可能性を開く」 Red Hat ブログ, 2021 年 6 月 23 日。

「クラウドを評価する際には、プロセスの早い段階からセキュリティチームに参加してもらう必要があります。そうすることで、ハイブリッドクラウド環境のセキュリティを初期段階からプロアクティブかつコラボレーティブに計画できます」⁸

Red Hat セキュリティグローバル戦略および
エバンジェリズム担当ディレクター
Lucy Kerner (ルーシー・カーナー)

- ▶ 脆弱性の修正、影響を受けるすべてのシステムの修正済みの最新バージョンへの更新を迅速に行うためのリソースを用意しておく
- ▶ セキュリティ侵害の一般的な原因の 1 つである設定ミスを解決するための自動設定管理の戦略を定める
- ▶ ハイブリッドクラウド環境内の全データの管理、保護、可視化の戦略を策定する。例：保管されているデータ、移動中のデータ、処理中のデータの暗号化
- ▶ クラウド内およびアプリケーション内にある機密情報を暗号化する
- ▶ ハイブリッドクラウド環境でコンプライアンスとガバナンスを維持するための戦略を策定する
- ▶ パブリッククラウドプロバイダーが提供しているものやオペレーティングシステムに備わっているものなど、利用できる膨大なセキュリティツール群を活用する

新しい環境でのセキュリティ機能を確認する

オープンソースとクラウド・コンピューティングのメリットを最小リスクで実現するためには、セキュリティのアプローチを慎重に検討し、定期的に更新する必要があります。自社のセキュリティ手法とポリシーをよく確認してください。物理環境や仮想環境では機能するセキュリティアプローチも、クラウド環境では意味をなさない場合があります。また、アプローチの定期的な点検と更新の手順が実施されていることを確認する必要もあります。

Red Hat でできること

セキュリティを実装してコンプライアンス要件を満たす

Red Hat で人材、プロセス、テクノロジーの連携により、従来の環境とクラウドネイティブ環境の両方においてアプリケーションとインフラストラクチャのライフサイクル全体でセキュリティを実装し、コンプライアンス要件を満たすことができるようお客様を支援します。

Red Hat のオープンソースソフトウェアは文書化されたセキュリティプロセスとともに開発されます。このプロセスを使用すると、ワークロードを任意の場所に移動できる柔軟性が得られるほか、脆弱性や攻撃にさらされるリスクを軽減できます。Red Hat では、すべての製品を対象に、運用とセキュリティ更新の安全を確保するため、静的コード解析などの重要なアクションを実施しています。

Red Hat はハイブリッドクラウドをより安全に構築するのに必要なテクノロジーを提供

Red Hat は複数レイヤーにまたがる多層防御 (DiD) アプローチを採用しています。このアプローチは、各レイヤー (オペレーティングシステム、コンテナ・プラットフォーム、自動化ツール、SaaS (Software-as-a-Service) アセット、クラウドサービス) に備わる機能を活用します。また、Red Hat のセキュリティパートナーとのパートナーシップを通してライフサイクルの各フェーズでセキュリティを実装するのに役立ちます。

この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat Enterprise Linux**: このオペレーティングシステムには、セキュリティシステムが直接組み込まれています。このセキュリティ基盤を使用すると、既存アプリケーションの拡張と先進テクノロジーの一貫した展開を、ベアメタル、仮想、コンテナ、およびあらゆる種類のクラウド環境にわたって行うことが可能です。Red Hat Enterprise Linux の一部である **Red Hat Insights** は予測分析と豊富な専門知識を活用して、組織がセキュリティとコンプライアンスの可視性を高め、ダウンタイムを削減し、スキルとリソースを最適化し、イノベーションに注力できるよう支援します。

⁸ Kerner, Lucy 「将来の可能性を切り拓く動画シリーズ:セキュリティ」、2021年7月21日にアクセス。

- ▶ **Red Hat OpenShift Platform Plus**: Red Hat Enterprise Linux のすべてのセキュリティ機能を継承し、コンテナ化されたアプリケーションの構築とスケーリングをより安全な方法で行うための一貫したエンタープライズ向けハイブリッドクラウド Kubernetes プラットフォームを提供します。
- ▶ **Red Hat Ansible Automation Platform**: インフラストラクチャ運用、アプリケーション開発、セキュリティ運用間で一貫して自動化を実装できるよう支援します。Ansible Automation Platform はサードパーティのセキュリティテクノロジーと統合できるので、調査の強化、脅威ハンティング、インシデント対応などのユースケースに特化した、厳選され、認定済みでサポート付きの自動化コンテンツを使用し、これらの機能をさらに強化することができます。
- ▶ **Red Hat Smart Management**: 繰り返しの多い Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル管理タスクの自動化や、システムのセキュリティ、可用性、コンプライアンスの維持を通して効率性を高めます。
- ▶ **Red Hat Application Services**: 広範なサービスとアプリケーション・セキュリティ機能を提供し、API 管理、API トラフィック制御、API ゲートウェイ、暗号化、認証、認可、アプリケーション間の通信および接続のセキュリティをサポートするアジャイルで柔軟な一連の製品を利用できるようにします。

Red Hat はセキュリティパートナー

Red Hat はセキュリティのトレーニング、サポート、コンサルティングサービスを提供し、お客様のスケーリングを支援します。Red Hat の製品に含まれるすべてのパッケージには、継続的にセキュリティアップデートが提供されます。

オープンソースでより良いテクノロジーを作る

オープンソースには、プロプライエタリーなテクノロジーにはない次のようなメリットがあります。

- ▶ **オープンコラボレーション**: アクティブなオープンソース・コミュニティの存在によって、単一のインタリストグループや企業を超えて広がる支援、リソース、視点を得ることができます。
- ▶ **イノベーションの自由**: オープンソースはイノベーションの基盤です。実現したいアイデアを、オープンソース・コミュニティが提供する最高のものに結び付けることができます。
- ▶ **ピアレビュー**: オープンソースのコードは生きたコードであり、コミュニティで活動する多くのプログラマーによってアクティブにチェックされ、改善が加えられています。
- ▶ **透明性**: オープンソースでは、ベンダーを関与させることなくデータの移動やコードの変更をトラッキングできます。
- ▶ **信頼性**: オープンソースコードは、アクティブなオープンソース・コミュニティを通じて絶えず更新されているため、元の作成者に依存しません。オープンスタンダードとピアレビューにより、オープンソースコードに対して適切なテストが頻繁に実施されます。
- ▶ **柔軟性**: コードの特定の使用方法に縛られる必要はありません。オープンソースのコードは、企業やコミュニティが抱えている独自の問題の解決に使用することができます。また、新しいソリューションを実装する際には、コミュニティに支援やピアレビューを依頼することもできます。
- ▶ **低コスト**: オープンソースでは、コードそのものは無料です。Red Hat などの企業を利用する場合、サポート、セキュリティ強化、相互運用性の管理支援に対して料金を支払うことになります。
- ▶ **ベンダーロックインがない**: オープンソースコードはどこにでも持ち出し可能で、いつでも何にでも使用することができます。

Red Hat は、技術的能力の限界を押し上げるソフトウェアの開発を継続的に進めるよう、20 年以上にわたってオープンソース・ライセンスの保護などのコミュニティ・プロジェクトに共同で取り組んでいます。

Red Hat のやり方

Red Hat サブスクリプションは、大きなフラストレーションを生じさせず、イノベーションのより多くの可能性を確保してビジネスを前進させるのに役立ちます。Red Hat サブスクリプションには、すべてのシステムを確実かつ安全に実行するために必要なものが含まれています。ソフトウェアに加えて、エキスパートのコミュニティ、ナレッジリソース、セキュリティアップデート、およびサポートツールにアクセスできます。これらは他では提供されません。提供されるサービスやリソースには次のようなものがあります。

コミュニティがサポートする無料のソフトウェアではなく、Red Hat のサブスクリプション・ソフトウェアを使用する企業は、100 ユーザーあたり 17,195 ドルの利益を獲得しています。⁹

継続的な提供

- ▶ パッチ
- ▶ バグの修正
- ▶ アップデート
- ▶ アップグレード

テクニカルサポート

- ▶ 年中無休
- ▶ 無制限のインシデント
- ▶ 専門分野に基づくルーティング
- ▶ ケースをマルチベンダーで共有
- ▶ マルチチャンネルでのサポート

業界のエコシステム

- ▶ ハードウェア認定
- ▶ ソフトウェア認定
- ▶ クラウドプロバイダー認定
- ▶ ソフトウェア保証

リソース

- ▶ Red Hat カスタマーポータル
- ▶ Red Hat トレーニングと認定
- ▶ Red Hat コンサルティング

⁹ IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援)「無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値」、Doc#US47607721、2021年4月。

Red Hat でより多くのことを実現

IT 部門の将来を切り拓く

Red Hat とオープンソースでビジネスに安定性、セキュリティ、イノベーションをもたらす方法をご覧ください。

Red Hat の IT ソリューションの詳細について、Red Hat にお問い合わせください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
 t twitter.com/RedHatJapan
 in linkedin.com/company/red-hat